

平成 18 年度町政執行方針



はじめに

私は、今年4月に行われた早来町と追分町の合併に伴う選挙によって、多くの町民みなさまの負託を受け、初代安平町長として就任させていただきました。

昭和27年に両町の前身である安平村から分村して以来、半世紀余の歴史を経て、二つの町が今まさに安平町としてひとつとなり、お互いの先人が築き上げた歴史と文化を礎として、さらにこの安平町を大きく飛躍、発展させていくことが私に与えられた使命であると、今改めてその重責に身の引き締まる思いをいたしております。

私は、今年3月26日に追分町長を失職するまでの間、合併協議会の副会長として「新町まちづくり計画」の策定に直接取り組んで参りました。

特に、両地域の特徴ある個性を表現するためのキーワードとして“笑顔”と“ぬくもり”を掲げ、新しいまちづくりのテーマを『くらしと笑顔が広がるぬくもりと活力と躍動のまち』とすることを町長会議で提言し、協議会において決定させていただきました。

このまちづくりのテーマにかける私の想いは、人口約9,400人の安平町に住むすべての人たちが、日常生活を送るうえで不便や不安を感じることなく、笑顔の絶えない、温かみのあるぬくもりに溢れた充実した生活が実感でき、将来的発展の可能性を秘めた夢のある、地域全体が自立した活力と躍動に満ちた新しいまち『安平町』を、住民のみなさんと共に実現しようという、熱い想いを込めて決めさせていただいたところであります。

私は、町民みなさまのご期待に応えるべく、この想いを新生安平町のために、全身全霊を賭して町政運営にまい進する覚悟でございます。

また一方では、まちづくりの担い手は町職員であるとの考えから、お互いの理解と共通認識を図り、「町民の目線に立った、町民のための、町民のために働く役場づくり」を、職員と共に取り組んでいきたいと考えております。

ここに向こう4年間にわたる町政執行の所信を申し上げ、ご理解とご協力を賜りたいと存じます。

それでは、これから進める町政運営に臨む具体的な基本姿勢について申し上げます。

町政運営の基本姿勢

1. 平和と民主主義を基本とした地方自治の確立と町民の人格と価値観を認め 合う人間尊重のまちを目指します。

戦後60年を過ぎ、私たちを取り巻く社会経済情勢はまさに変革の時代を迎え、世界的にはイラクへの自衛隊派遣問題や北朝鮮の拉致問題、韓国との竹島問題、イランの核開発問題や原油の高騰、

靖国神社公式参拝によるアジア諸国からの批判など、また国内では憲法の改正問題や国の構造改革による所得格差拡大など、到底、平和で安心、安全な社会とは言い切れない数多くの課題を抱えております。

そんな時代だからこそ、町民相互の人格と価値観を認め合える、平和と民主主義を基本とした真の地方自治の確立と地方主権を目指し、人間尊重のまちづくりを進める必要があると考えます。